

第41回ムーンビレッジ勉強会予告

月に設営するベースキャンプのパッシブ展開構築法 と月面経済に関する試算例

佐藤 淳

東京大学新領域創成科学研究科
准教授（建築構造）

日時：2025年11月20日(木) 17時から

@X-NIHONBASHI BASE ラウンジ+オンライン(Zoom)開催



- 建築構造デザインの発想から 2021年 JAXA宇宙探査イノベーションハブ共同研究で本格的に月居住モジュールの開発に着手。現在 STARDUST プログラムで初期の居住モジュール、太陽光発電モジュール、栈橋モジュールの躯体の開発を進めている。
- 輸送コンテナからのリリース、非平坦地への接地、枕型の金属製インフレーターブル多面体と内蔵高床の同時展開、ハサミムシ型太陽電池パネルの展開、というトータルなモジュール形態とその構築法を開発しています。アクチュエーター等によるアクティブ制御を少なくしスプリング等によりパッシブに展開する機構を駆使します。極小のオールインワンモジュールによる月面実証機的设计試作も進めています。
- 月面拠点形成の経済的ロードマップを検討するにあたり、月面経済に関する試算例も紹介する。